

東京都北区長 山田 加奈子 様

駅周辺のまちづくりに関する要請書

2026年4月27日

日本共産党北区議員団

日頃からの区政運営へのご尽力に敬意を表します。

十条での市街地再開発事業に続き、王子や赤羽の駅周辺でも大型開発を中心とするまちづくりの動きが加速しています。

王子では、今年1月の第4回王子共創会議で、新庁舎とともに高さ190メートル、50階規模のタワーマンション2棟を建設する先行実施地区の計画案が示されました。3月に区が開催した2回の説明会では、会場にあふれるほどの住民が詰めかけ、質疑を途中で中断せざるを得ないほど意見や質問が相次ぎました。

赤羽では、昨年度策定した基本計画を受けて、今年度から2か年にわたるガイドライン策定検討が開始されますが、新たに設置された検討会では、2つの部会と公共公益施設のあり方を取りまとめる庁内会議が「非公開」とされています。

建設コストの上昇などにより、市街地再開発計画は各地で行き詰まっています。区が行った区民意識・意向調査でも再開発計画に対する疑問や不安の声が多数出ており、あらためて「タワマン誘致のまちづくりでよいのか」が問われています。

まちづくりは住民合意こそ大原則であり、地域住民、関係住民の声を今後のまちづくりに反映させていくために、以下、要望いたします。

記

- 1、王子駅周辺のまちづくりでは、先行実施地区の計画案について、区として再度説明会を開催するとともに、今後予定されている民間事業者による事業説明会や都市計画決定のための住民説明会では、参加者の声を計画に反映させるための十分な時間と場所を確保すること。
- 2、赤羽駅周辺のまちづくりでは、部会、庁内検討を含め、ガイドライン検討のすべての議論を公開するとともに、再開発か修復型かの事業手法については、地域住民、関係住民の合意を踏まえて決定すること。
- 3、区として、市街地再開発事業による大型開発の駅周辺まちづくりの方針を抜本的に再検討すること。

以上